

★地域協議会だより★

平成30年度第1回地域協議会は、4月27日(金)午後2時から二ツ井町庁舎大会議室で開かれました。この日、県外出張が重なった齊藤市長に代わり、鈴木副市長から第7期委員へ委嘱状が交付されました。概要については、次のとおりです。

委嘱状交付 第7期新委員15名へ

第6期地域協議会委員の任期満了に伴い、新委員が選任され、鈴木副市長から委嘱状が交付されました。全15名の内訳は、地区推薦6名、公共的団体推薦3名、識見3名、公募3名です。



委嘱状交付の様子

長 市 二ツ井地域のより良い 副 長 まちづくりのために

「合併して12年が経過した。ご承知のとおり、地域自治区設置期限を5年延長し、平成33年3月31日までとしている。委員の皆様には、これまで同様、市から提出される重要案件の審議はもとより、地域に根ざした各種イベントの実施や住民の方々が主体となつて行うまちづくり事業等について、さまざまな角度からご協議いただき、二ツ井地域のより良いまちづくりにお力をお貸しいただきたい。」と挨拶しました。



副市長挨拶の様子

会長・副会長を互選

条例に基づき、会長と副会長を互選し、会長に齊藤陽悦氏、副会長に畠山美紀子氏を選任しました。
齊藤会長は、「我々自らが住みよい地域を創っていくという思いや姿勢が大事だと思う。皆さんとともに、地域住民生活に密着したテーマについて、自由闊達に意見交換、協議できる場にしたい」と思いますので、ご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。



会長の齊藤氏、副会長の畠山氏

【地域協議会委員】
伊藤 誠 大高洋子
菊池敏幸 工藤正志
齊藤陽悦 佐藤 力
篠内 久 高橋伸子
田中真理子 成田弘子
野呂 昇 畠山博嗣
畠山美紀子 松嶋俊一
山谷清貴 (五十音順)

発行：二ツ井地域局
総務企画課
〒018-3192
能代市二ツ井町字
上台1-1
電話 0185-73-2112

H30.5.25発行

二ツ井地域局の状況を報告

報告案件の冒頭、平成30年度の二ツ井地域局の状況が市側から報告されました。
総務企画課・市民福祉課・環境産業課・建設課で構成されている二ツ井地域局の職員数は、前年から2人減の56人となりました。

市民福祉課と建設課が共に1人減で、市民福祉課は子ども園の退職職員2人中、再任用職員1人を除く実質退職者1人の減、建設課は二ツ井・荷上場地区簡易水道整備工事の終了等に伴う1人減。

なお、教育委員会を含めた二ツ井町庁舎に勤務する職員数は、職員80人・臨時職員19人の計99人(子ども園と出張所は除く)で前年度より7人増であると報告されました。

また、二ツ井地域局所管の平成30年度主要予算概要についても報告されました。

平成30年度二ツ井地域局

主要予算概要について

平成30年度二ツ井地域局所管の当初予算概要のうち、総務企画課では前年度比で約10億2千9百万円減の3億7千万円となり、道の駅ふたつ整備事業の建物躯体工事が終了したことが主な要因。

市民福祉課では、約7千万円減の1億7千百万円となり、二ツ井小学校敷地内に整備を進めていた二ツ井児童クラブの建設工事が終了したことが主な要因。

※裏面につづく

環境産業課では、約3千4百万円増の1億3千3百万円で、下田平地区及び小掛・鬼神地区のほ場整備事業費の増と、新規事業として仁鮎水沢スギ植物群落保護林遊歩道整備事業費が計上されたことが主な要因。

建設課では、約1億1千8百万円減の5億6千百万円となり、国からの交付金事業の減と二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業の工事完了による減が主な要因。

二ツ井地域局全体では、約11億8千3百万円減の12億3千6百万円であることが報告されました。

主な委員質疑と市側回答

(質疑) 七座山の遊歩道沿いの天然秋田杉について、材積や住宅何軒分の木材が取れるなどを紹介する看板があればと思うが、設置できないか。

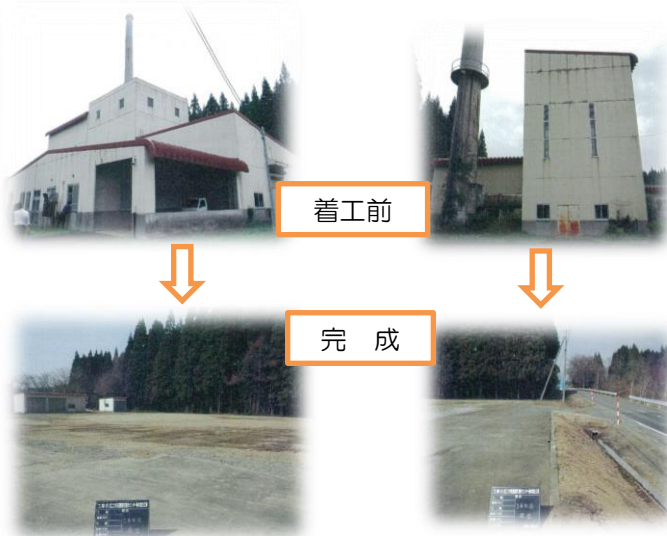
(回答) 森林管理署側で樹種名の紹介看板を随所に、市では遊歩道入口にルート及び距離の案内看板を設置している。今後、森林管理署にこうした要望があったことを伝えたい。

(質疑) 田代のスギ植物群落保護林の木道は滑つて危険である。木材チップを敷くなどに変更してはどうか。

(回答) 今年度、木道を撤去して、新たな遊歩道を整備する予定である。国有林内に恒久的なものを造るのは避ける必要があり、木材チップ活用も選択肢のひとつと考えている。今後、測量設計等を進める中で検討し、最適な手法で整備したい。

旧二ツ井藤里地区行政組合清掃センターの解体撤去工事について

旧二ツ井藤里地区行政組合清掃センターは、建物の経年劣化がすすみ、煙突等の倒壊が危惧されるようになったことから、昨年度(平成29年度)、藤里町において解体撤去工事を行いました。建物解体に先立ち、昨年10月から11月にかけて焼却炉や煙突等建物内部を密閉し、高圧洗浄してダイオキシン類を除去するなどの飛散防止対策を講じた後、12月から建物本体の解体、撤去を行い、本年3月23日に完成しました。



現地視察

新たな道の駅 & 河川防災ステーション・川の駅 ～ きみまち阪公園

案件審議の後、現地視察を行いました。
この夏のオープンを目指して整備が進む「新たな道の駅」は、すでに建物本体が完成し、什器備品等の搬入設置を待つばかり。
道の駅と一体となって整備される「河川防災ステーション」と、今年度から始まる親水空間(川の駅エリア)での「かわまちづくり支援制度」事業についても、現地で理解を深めました。

また、きみまち阪公園でも、東屋建設等の30年度実施事業概要について説明を受け、理解を深めました。

